

令和4年度

当初予算の概要を お知らせします

令和4年度当初予算は、市長選挙の関係で1年度の収入と支出の予算から建設事業費や単独補助金などの政策的な経費を除いた「骨格予算」として編成しました。

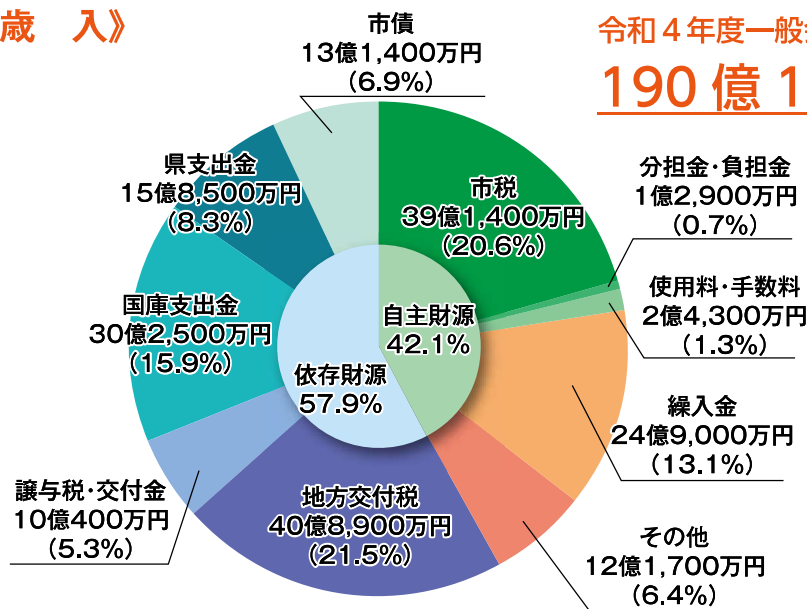
政策的な経費を含めた予算は、6月議会の補正予算成立後にお知らせします。

☎ 0964(22)1111(内線215・216)
財政課 財政係

一 会計の予算総額

| 会計名 | | 令和4年度当初予算 |
|--------------|-------|--------------|
| 一般会計 | | 190億1,000万円 |
| 特別会計 | | |
| 国民健康保険 | | 44億9,371万2千円 |
| 北段原土地区画整理事業 | | 1千円 |
| 介護保険 | | 38億5,462万6千円 |
| 漁業集落排水施設整備事業 | | 5,673万2千円 |
| 後期高齢者医療 | | 5億9,734万9千円 |
| 入学準備祝金給付基金 | | 131万2千円 |
| 企業会計 | | |
| 水道事業 | 収益的支出 | 6億6,568万6千円 |
| | 資本的支出 | 2億3,496万7千円 |
| 公共下水道事業 | 収益的支出 | 9億9,516万8千円 |
| | 資本的支出 | 10億43万8千円 |

《歳入》



令和4年度一般会計予算

190億1,000万円

【一般会計歳入概要】

市が自ら収入できる市税、施設の使用料、事業を行う場合の分担金などを「自主財源」といい、反対に国からの地方交付税、交付金、国・県からの補助金、市債の借入などを「依存財源」といいます。令和4年度の依存財源の割合は57.9%であり、市の歳入の多くを国、県に頼っていることがわかります。

【一般会計歳出概要】

令和4年度当初予算は骨格予算のため、政策的経費が多く含まれる土木費や農林水産業費が通常より少なくなっています。「総務費」には、全般的な管理事務、徴税、選挙などの経費を計上しており、平成28年熊本地震で被災した市庁舎の建設事業に係る経費も含まれています。「民生費」とは、市民の皆さんの安定した生活を保障するための経費であり、高齢者、子育て家庭、障がい者への助成、医療関連経費や生活保護費などが該当します。民生費は年々増加しており、歳出総額の4割近くを占めています。この経費は、今後も増加が予測されます。「公債費」は、市債を返済するための経費で、歳出総額の1割以上となっています。これは、平成28年熊本地震の復旧関連事業に係る市債の償還が、令和4年度から本格化したことなどによるものです。

《歳出》

